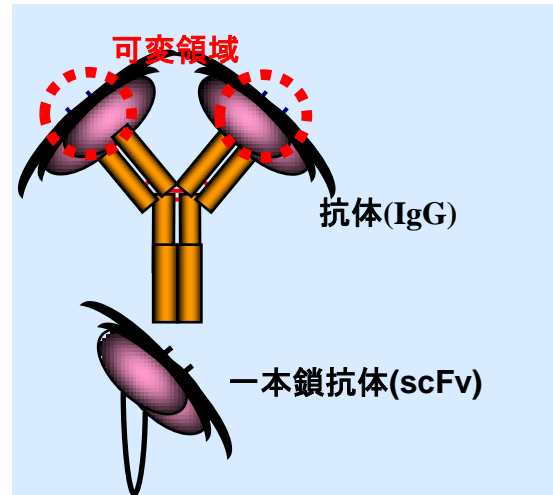


新規な多量体化低分子治療抗体

安価な製造を維持したまま既存の抗体医薬に匹敵する効果を発揮する新しい低分子抗体医薬

概要

本発明は、従来型の抗体医薬の欠点である動物細胞を用いた高コスト製造や、患者の免疫能に効果が左右される可能性を解消しながら、低分子抗体の親和性、体内半減期の問題も解決可能なヒト型抗EGFR scFvの多量体化およびその製造方法である。



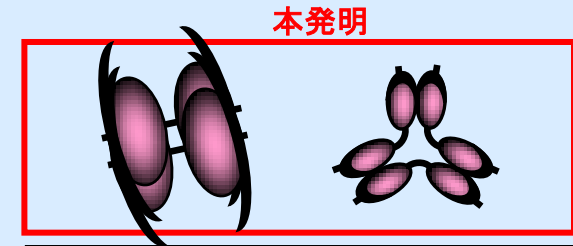
- 従来の抗体医薬品(IgG)の問題点
- 動物細胞を用いた製造に起因する高コスト
 - 患者の免疫能に効果が左右される可能性
- 低分子抗体(scFvなど)の問題点
- 結合価数が一価であるため低親和性
 - 低分子量のため体内短半減期

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ
TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419
問い合わせは[こちら](#)からお願いします。

効果・応用例

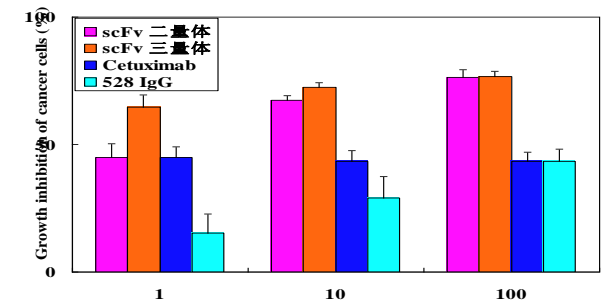
- 応用例
抗体医薬品(抗がん剤)



本発明の利点

- 安価な大腸菌を用いた生産
- 多量化(結合価数の増加)による高親和性化
- 分子量の増大による体内動態の向上
- IgGよりも高い組織浸透性
- scFvよりも長い体内半減期

三量体化により、がん細胞成長阻害活性がさらに向上



特許データシート
特許番号: 特許第5614606号
発明者: 熊谷泉、浅野竜太郎、梅津光央